

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

- ① かんがえて行動 ② みんなにあいさつ
③ そい合って働く ④ もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより
発行者 校長 梶山 崇 〒339-0006

令和4年12月1日(木) 12月号

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

TEL048-794-2316 メール: kamisato-e@saitama-city.ed.jp

やり方が変わっても子どもたちのがんばる姿は変わりません (校内持久走記録会)

校長 梶山 崇

朝晩は気温が低くなり、晩秋から冬の季節の訪れを感じます。11月9日(水)の校内持久走記録会には、多くのみなさまにご参会いただきありがとうございました。

さて今年度、持久走記録会の方法を今までの距離走から周回走(ペース走)へと変更させていただきました。変更の一番の理由としては、コロナ禍により、子どもたちの運動経験の減少が見られ、全員が同じ距離を走る距離走では子どもの身体に負担をかけすぎるという懸念があったからです。また、記録会を通常の体育授業の方法で取り組めたり、一定の時間を走ることににより、毎回の走った距離を比べたり、走った距離の伸びを味わったりすることも理由として挙げられます。

子どもたちは10月から持久走記録会に向けて、体育の授業やさわやかタイムを通して練習をしてきました。休み時間に走っている子どもたちも多くいました。持久走を少しでも楽しい時間にするために、授業ではテンポのよい曲をかけたり、子どもたちに励みをもたせるために、マラソンカードを使ったりしました。また、練習のときから子どもたち同士で応援の声をかけ合う姿も見られ、本校の子どもたちのすばらしさを改めて感じました。余談となりますが、第18回世界陸上選手権大会の競歩の部で金メダルを獲得した山西 利和選手は、小学校の時に使ったこのようなマラソンカードがきっかけとなって競歩の世界に飛び込んでいったことを2学期の始業式で話をしました。

当日は、持久走日和の晴天の中で行われました。何よりもすばらしかったのは、どの子ども自分のペースで一生懸命走ったことです。子どもたちが一生懸命走っている姿を見ていると目に熱いものがこみ上げてきました。また、今年度は異学年の児童同士でペアとなり、上の学年の児童が下の学年の児童の周数を数えるなど、子どもたち同士で協力して取り組めた点も、とてもすばらしかったです。その他、子どもたち同士のあたたかい応援や見学していた子どもたちの応援もとてもよかったです。

保護者のみなさまには、毎日のお子さんの健康管理、持久走健康観察カードへの記入並びに押印等のご協力ありがとうございました。子どもたちのがんばる姿を見ていただくことは、子どもたちの励みにもなり、子どもたちが力をより発揮することにつながっていきます。今月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。